

インフルエンザ週報 2024年 第1週 (1月1日～1月7日)

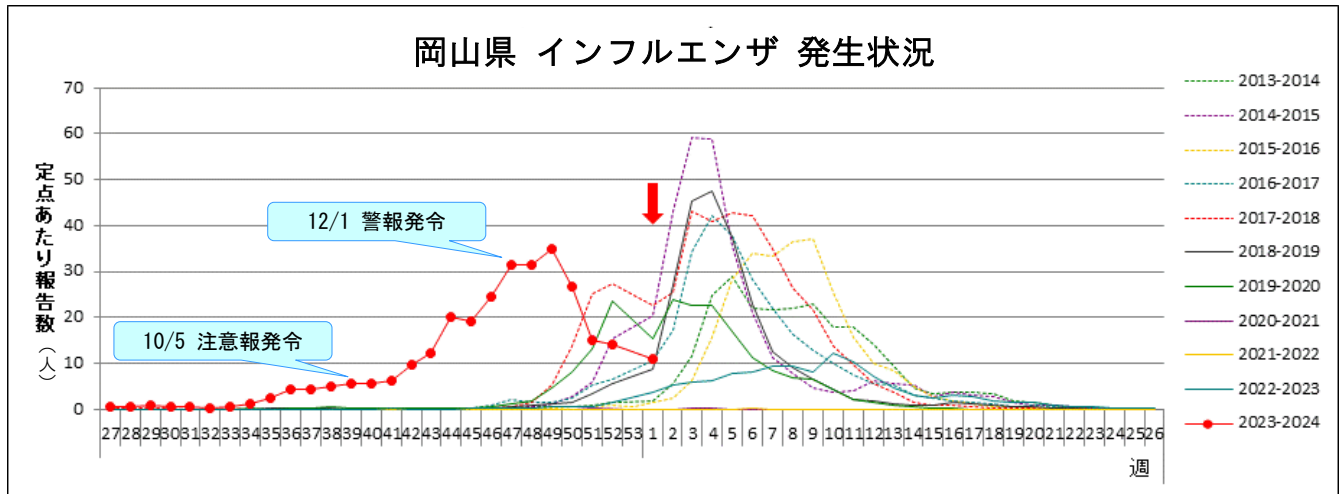
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で922名（定点あたり10.98人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者12名の報告がありました。

【第2週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました（1月8日～10日）。



インフルエンザは、県全体で922名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり14.08 → 10.98人）。岡山県は『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市（19.00人）、真庭地域（13.67人）、備中地域（12.75人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【日常的な感染防止策】

- ・場面に応じたマスクの着用
- ・手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度設定、定期的な空気の入換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事

【予防接種】

特に高齢者や基礎疾患がある方、妊婦、乳幼児など、重症化リスクが高い方はインフルエンザワクチンの接種を検討しましょう（ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【感染の拡大を防ぐために】

- ・発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診しましょう
 - ・咳などの症状があるときは、マスクを着用するなどの「咳エチケット」を！
 - ・インフルエンザと診断されたら外出を控え、安静にして休養をとりましょう
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	922	▲	備 中	患者数	153	▶
	定点あたり	10.98			定点あたり	12.75	
岡山市	患者数	159	▲	備 北	患者数	56	▶
	定点あたり	7.23			定点あたり	9.33	
倉敷市	患者数	304	▲	真 庭	患者数	41	▶
	定点あたり	19.00			定点あたり	13.67	
備 前	患者数	123	▲	美 作	患者数	86	▶
	定点あたり	8.20			定点あたり	8.60	

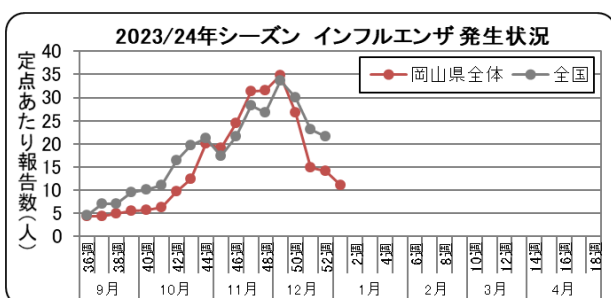
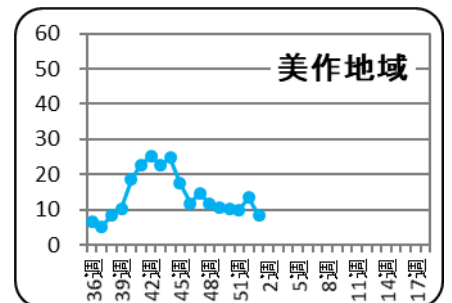
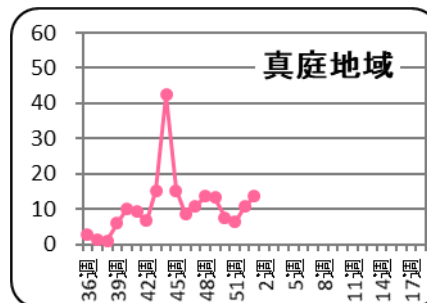
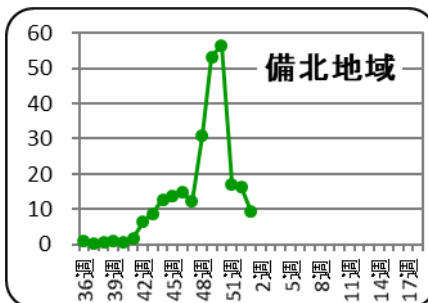
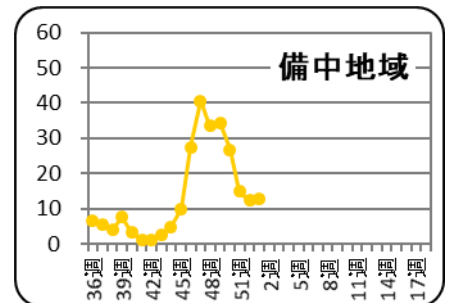
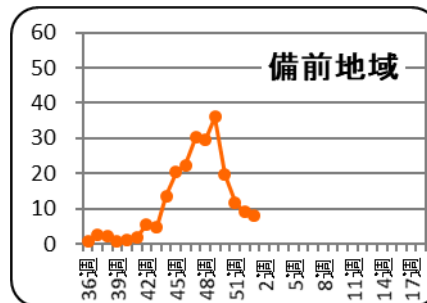
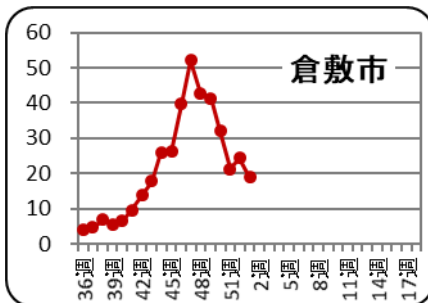
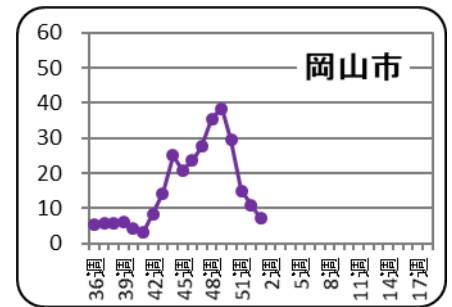
【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ▶：ほぼ増減なし ▼：減少 ▼：大幅な減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

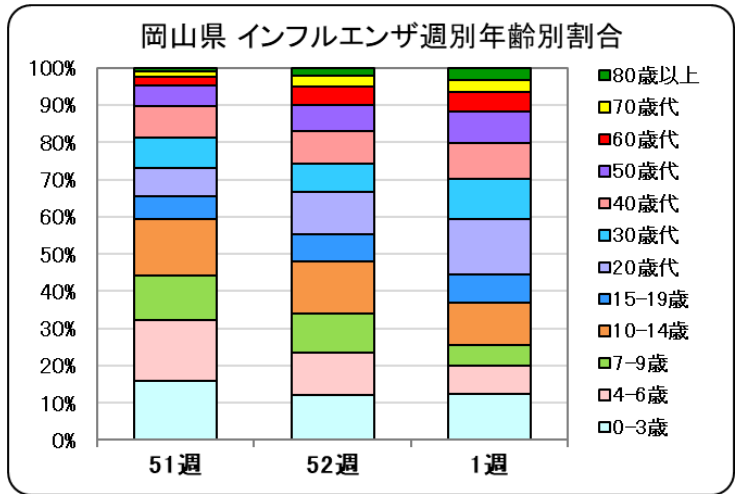
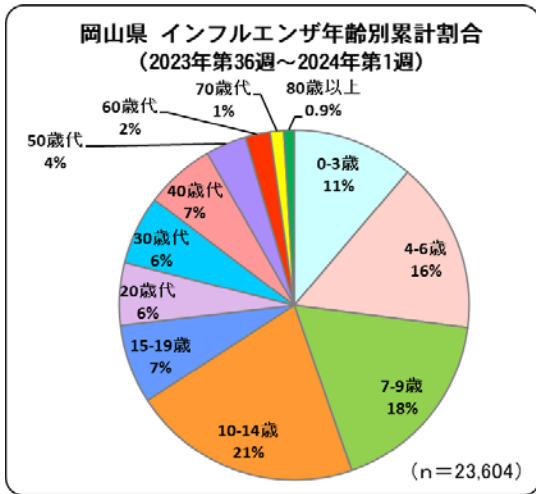


全国集計 2023 年第 52 週 (12/25~12/31) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 21.65 人となりました。

都道府県別では、宮崎県 (44.86 人)、高知県 (36.25 人)、大分県 (35.66 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。28 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

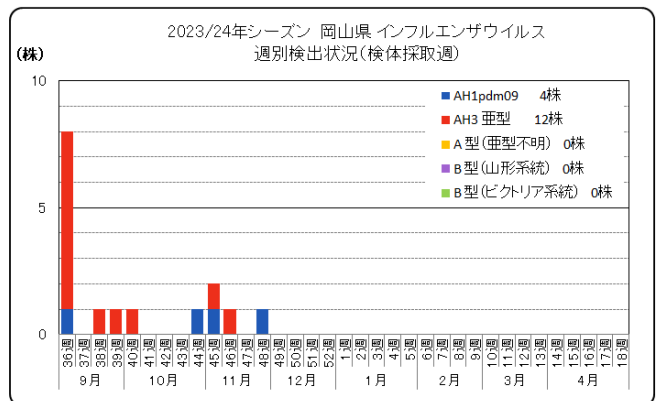
2. 年齢別発生状況



3. インフルエンザウイルス検出状況

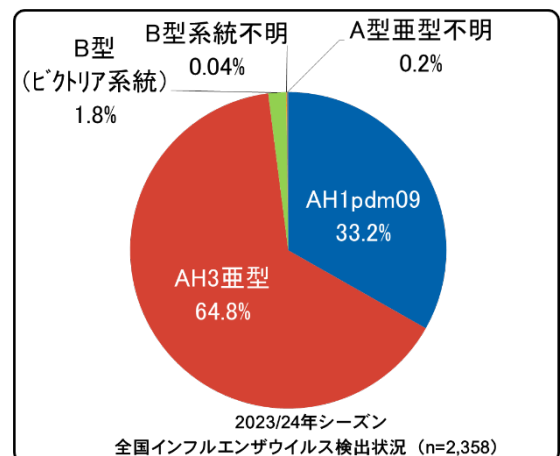
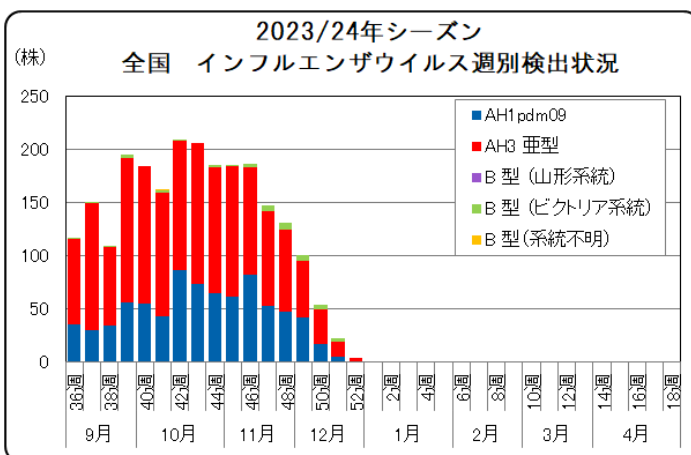
2024年第1週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。

今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは16株で、その内訳は、AH3亜型が12株、AH1pdm09が4株となっています。



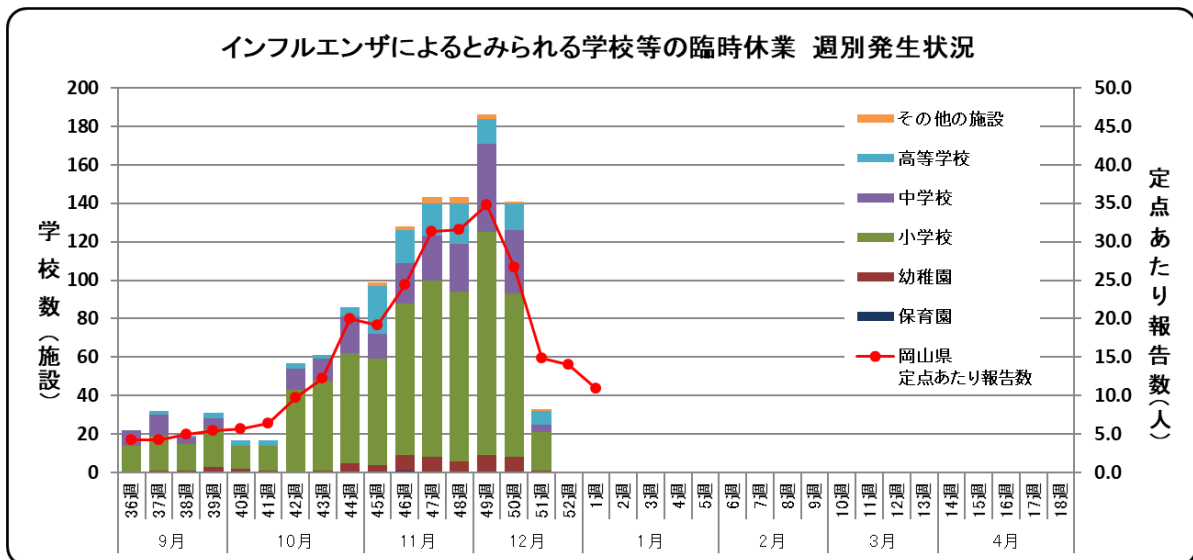
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3亜型が1,527株、AH1pdm09が783株、B型(ビクトリア系統)が43株、A型亜型不明が4株、B型系統不明が1株となっています(1月10日現在)。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 臨時休業施設数の内訳

第1週:0施設 累計:1,215施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	1	0	58	0	773	0	233	0	136	0	14

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

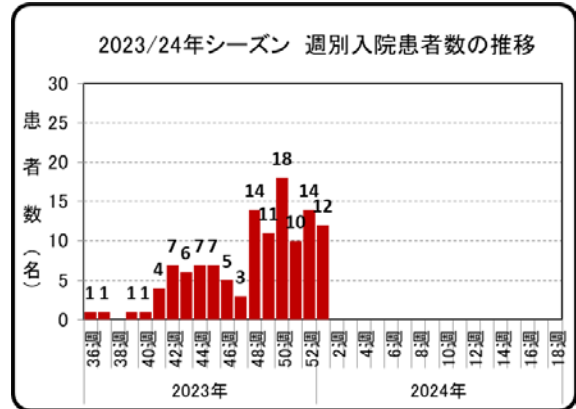
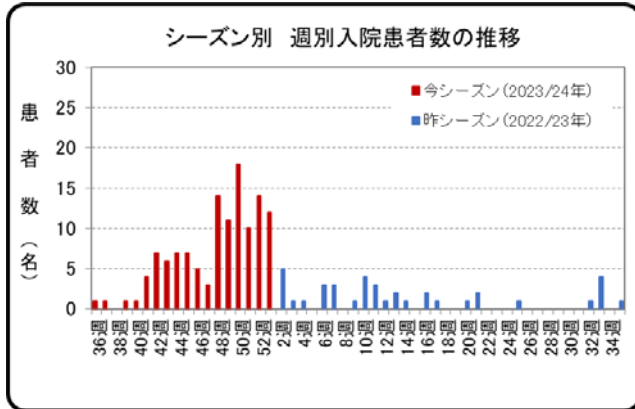
* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	20,215	0	16,293	0	1,215	0	27	0	287	0	901	R5.9.4
岡山市	0	7,088	0	5,739	0	425	0	3	0	27	0	395	R5.9.4
倉敷市	0	5,331	0	4,412	0	290	0	4	0	29	0	257	R5.9.4
備前地域	0	1,932	0	1,521	0	126	0	6	0	52	0	68	R5.9.4
備中地域	0	2,371	0	1,835	0	142	0	3	0	60	0	79	R5.9.4
備北地域	0	742	0	591	0	46	0	5	0	22	0	19	R5.10.17
真庭地域	0	288	0	235	0	11	0	2	0	5	0	4	R5.10.26
美作地域	0	2,463	0	1,960	0	175	0	4	0	92	0	79	R5.9.4

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、12名（1歳未満2名、1～4歳1名、5～9歳2名、70～79歳2名、80歳以上5名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第1週 入院患者報告数】

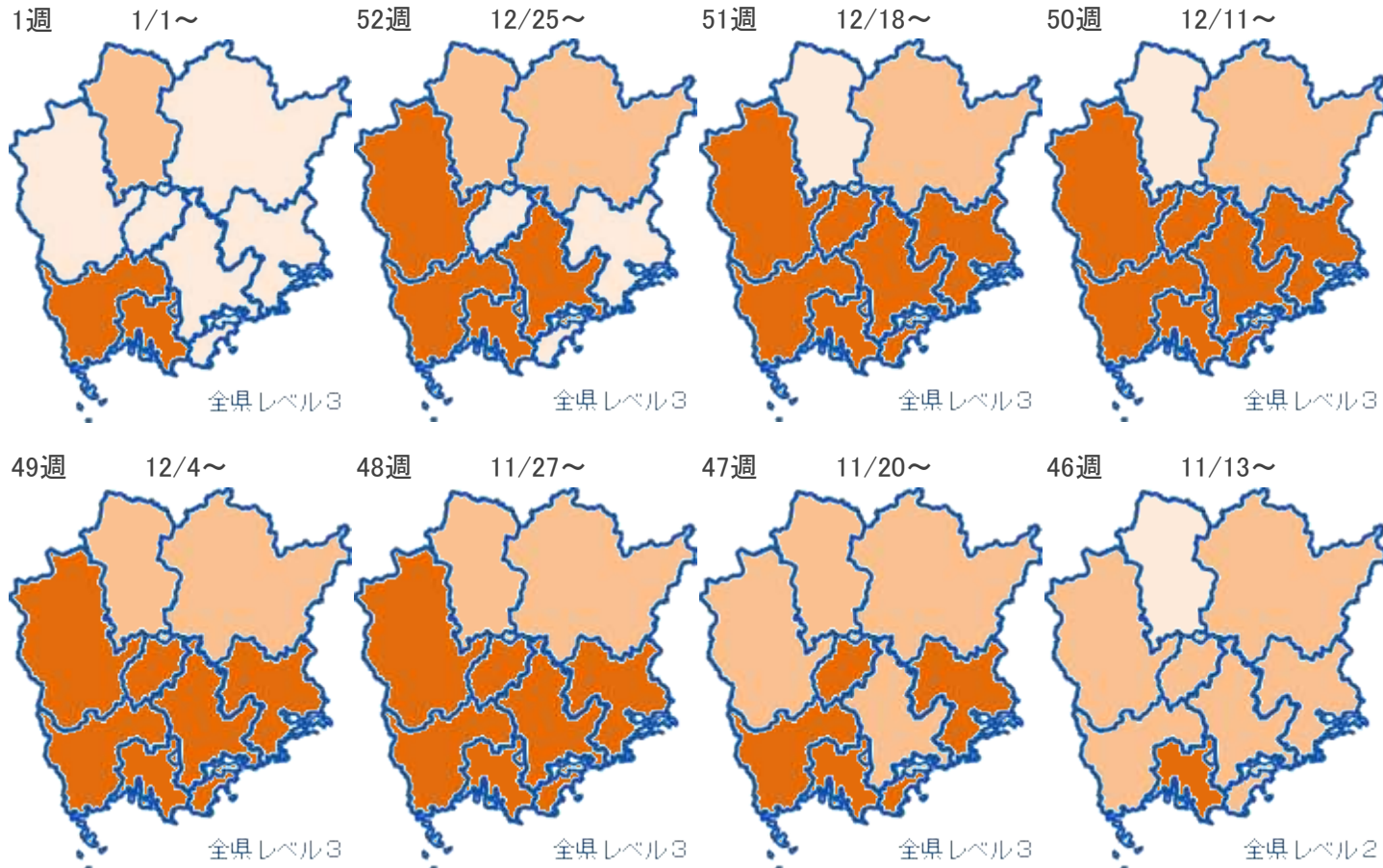
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	1	2								2	5	12
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*												1	1
頭部MRI検査(予定含)*		1	1									1	3
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	2		1								2	4	9

* 重複あり

【2023年9月4日（第36週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	21	35	4	4		1	2	3	9	12	23	122
ICU入室*		1			1			1	1		1	1	6
人工呼吸器の利用*								1				1	2
頭部CT検査(予定含)*		1	1		1					1	4	3	11
頭部MRI検査(予定含)*	1	3	5	1	1					1		2	14
脳波検査(予定含)*		1	6										7
いずれにも該当せず	7	16	27	3	2		1	1	2	8	7	19	93

* 重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。